

東郷町成人式 式辞

本日ここに成人式を迎えられた新成人の皆さんおめでとうございます。

保護者の皆様、こうして素晴らしく立派に成長された新成人の姿を目にし、幼き頃を思い出しつつお喜びのことと存じます。

心よりお祝い申し上げます。

新成人の皆さん二十歳（はたち）を迎える皆さんにはこれまでの人生の中で多くの出会いや喜びがあったことと思います。

皆さんの世代は、高校に進学して以降、新型コロナウイルス感染症の感染防止のためとはいえ、本来は蜜すぎるほど蜜であってほしい青春時代の青い時期に、マスク越しでのネット画面越しで友情を育まなければならなかったり、外出自粛などの行動規制の合間の中で、仲間との交流を凶らねばならなかったりと、思い通りにならないことも数多くあったと思います。

しかしながら、そうであったからこそ、皆さんの世代はどの世代よりも人とのつながりを大切にする世代なのかもしれません。

デジタル技術の目覚ましい進歩により、スマホ1つでおおよそのことができる時代となりました。

その技術が、コロナ禍においては人との直接的な接点をできる限り小さくするツールとして、一層の発達をし、今ではいろいろな常識が定着しました。

オンラインでの授業や、打合せに使うチームズなどアプリケーションや、ペイペイなどのキャッシュレス決済は、このコロナの広がりの中で定着した情報技術であり、既に私たちの当たり前になりつつあります。

しかし、このネットという技術革新は未だ完璧でなく、ネットでは埋めてくれないものもたくさんあります。

その一つが思いやる心であり、心の温かみであると思います。

今日、皆さんがこの会場に入る際に、手にアルコール消毒をしていただきました。これもコロナ禍に生まれた新しい生活様式の中の習慣であります。

しかしながら、本来皆さんの手はアルコール消毒をするためにあるものではありません。

ましてや暴力で人を傷つけるためにあるわけでもなく、ネット上に誹謗中傷や批判を繰り広げるためにあるわけでもありません。

希望の実現のために、ぐっと辛抱し我慢する時、その想いを握りしめるためにあるのであり、落ち込んでいる大切な友達の肩にそっと手を回すために、なにより大切な仲間や最愛の人を強く抱きしめるためにあるのです。

皆さんがその手を大きく空に掲げ、未来を指さし、夢を現実へとつかみ取ってくれる事を期待しています。

結びに、皆さんのこれからの人生に幸多からんことを心からお祈り申し上げお祝いの言葉といたします。

新成人の皆さんおめでとう。

令和五年一月八日

東郷町長 井 俣 憲 治